

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 WOWの樹さくさべ		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2024年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○従業者評価実施期間	2025年 1月 6日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	自分の居場所として感じてもらえるような、安心して通える場所。	信頼関係を構築できるよう、気持ちをくみ取る姿勢と、柔らかい表情や声掛けを心掛けている。その上で、不適切な行動や言動が見られた時は、危険なこと以外は、気持ちをくみ取りながら、ゆっくり正しい行動や言葉を伝えるようにしている。	新しく、楽しい支援プログラムを、常に試行錯誤して提供していきたいと思っている。また、自分の気持ちを上手くコントロールできずに崩してしまうお子さんに対し、もっと沢山の対応方法を学び実践していきたい。
2	日常生活のスキルを身に着ける支援	お子さんごとの成長過程に合わせた、日常生活のスキルの向上を目標にして、記録しながら、きめ細かく支援している。	毎回、支援に入る職員以外の職員もいるため、記録に残らないような細かい点の共有が難しいことがある。職員同士コミュニケーションをとり、支援前の打ち合わせを充実していきたい。
3	避難訓練は「全員参加を目標」	幼稚園や保育園と違い、一日の通所児童数が少ないことから、避難訓練をできるお子さんが一部になってはいけないので、避難訓練の週を、年二回設けて実施している。内容は、地震・火災の避難訓練。職員からの説明の後、映像を見て学習し、クイズ形式を用いることもある。実際に避難場所まで歩きながら、注意する点など確認している。	地震や火災の避難訓練を行ってきたが、「不審者」による被害を防ぐための訓練や学習を実施していこうと思う。お子さんの目線や関心を考えた訓練を行えるよう考えていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流ができていない	地域の幼稚園や保育園との交流がなく、公園遊びの際の地域のお子さんや住民の方との少ない交流のみになっている。	まずは、地域の地区運動会への参加を目指し、地域との関りを深めていく。
2	保護者同士の関りの場を提供できていない	父母会がなく、家族ぐるみで参加できるイベントを行っていない為、保護者同士の関りはない状況。	保護者皆さんに何ってはないが、父母会を希望されないお声はあるため、お子さんと一緒に楽しめるイベントができると思う。小規模なイベントでも実施できるよう検討していきたい。
3	HPやSNSの活用ができていない	自己評価結果や支援プログラムなどの公表などは、HPで行っている。連絡帳などで、日々に活動内容などのお知らせはしているが、それ以上の支援の様子や楽しかったイベントなどの情報提供に活用できていない。	新しいツールの導入を検討中。文字でのお伝えだけでなく、写真なども添えて活動の時の表情もお伝えできればと思う。